

健康

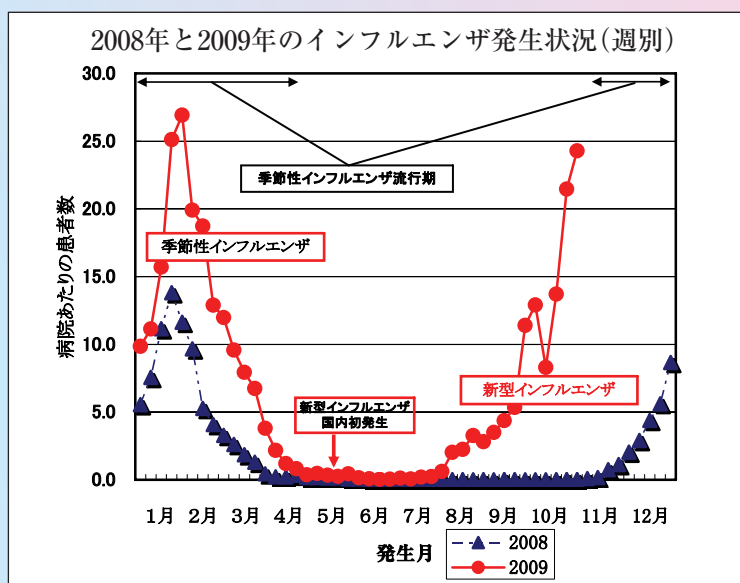
環境

サイエンス

新型インフルエンザにご注意



2009年10月、インフルエンザが全国で流行しています。毎年11月から3月にかけてAソ連型、A香港型、B型などの（季節性）インフルエンザウイルスによるインフルエンザが流行します。しかし、大阪市内でも、2009年の6月末以降インフルエンザの患者が増加しています。9月下旬に病院あたりの患者数は、10人を超え、10月末25人近くまで増加しました（右図）。



環境科学研究所の実施した検査では、8月以降、ほぼすべて新型インフルエンザウ

イルスが検出されており、現在のインフルエンザの流行は、新型インフルエンザウイルスの感染によるものです。この新型インフルエンザウイルスは、ブタの間で感染を繰り返していた数種のウイルスが複雑に組み合わせられて人から人へ感染する新たな型のウイルスへと変化したもので、アメリカやメキシコでの患者発生が4月に報告された後、5月に兵庫県で初めて、国内で感染した患者の報告があり、ほぼ同時期に大阪市を含めた大阪府内でも国内の感染を確認しました。

大阪市内のインフルエンザ発生状況を把握するため、市内81箇所の医療機関でインフルエンザと診断した患者数を毎週調査しています。

この新型インフルエンザは、感染力が強いものの、多くの方が比較的軽症で回復しています。しかし、稀に重症化がみられ、とくに、糖尿病、ぜんそく、人工透析を受けている方など持病のある人や妊婦、乳幼児、高齢者については、重症化する恐れがあり、注意が必要です。呼吸が苦しい、意識がもうろうとするなど症状が重くなった場合には、できるだけ早く受診する必要があります。受診の際にはあらかじめ電話をしてください。

新型インフルエンザに関する問い合わせは

◎ 大阪市保健所 「新型インフルエンザ相談電話」

午前9時～午後6時（土曜、日曜、祝祭日は除く）

電話 番号：6647-0956

FAX 番号：6647-1029

メールアドレス fa0055@city.osaka.lg.jp

（微生物保健担当 後藤 薫）

